

次号から、各施設のHPで「あらぐさ新聞」を見られるようにしていきます！年に1回発行予定です！ぜひチェックしてくださいね！

新園舎完成しました！



理事長 寺尾 昭

新しい仲間を迎え年度がスタートしました。コロナ禍というこれまでに経験したことのない環境のもと、希望と不安が交錯する日々が続きます。スタッフ一同気を引き締めて安全を第一にしながらも、楽しく過ごせるよう努力してまいります。私たちの法人・静岡あらぐさ福祉会は、たんぽぽ保育園、つくしんぼ保育園、デイサービス福寿草を運営していますが、地域みなさんに支えられ、保護者と関係者、保育園スタッフみんなでつくりあげてきました。その精神はこれからもしっかりと引き継いでいきます。皆さんの変わらぬご協力どうぞよろしくお願いいたします。



初代園長 木野 久恵 (83才)

40年も前のことを思い出しています。25世帯の家族と地域の皆さん、市の方々のご協力で7700万円の建設費でたんぽぽ保育園が誕生しました。落成の日、子どもたちはただ部屋中をキョーキョー走り回り、それを見て「こんな環境がほしかったね～」と大人たちは涙、涙でした。当時、0才児保育をやる保育園はなく、保育時間も8:00～16:00でした。たんぽぽは、産休明けから、親が働ける保育時間、と決めていましたから、市内でも珍しい存在でした。園服どうしよう？から始まり、保育時間、保育内容(給食も)行事も共同で考えつくりあってきました。保育士さんが「困った」というと「お父さんに来てもらおう」と子どもが言ってくれました。子どもの目にも、お父さんお母さんが同じ仲間と見えていたと思います。40年の間に保育要求も変化して拡がり、保育条件も変わっています。私はたんぽぽで働き、生き甲斐を感じさせてもらいました。新しい園舎とともに第2のスタートです。みなさん、これからもよろしくお願いいたします。また会いましょう。





みんな大好きひだまりコーナー！
こども達、先生、お迎えの方々「おお～い！」とばあぐみちゃんに声をかけてくれます。ばあぐみの子どもの笑顔で、ひだまりはみんなの癒し空間です。外がよく見えてきもちがいいねー。



窓から隣のおうちの木やみどりが見える落ち着いた部屋になりました。フリールームのあたりでは、ゆったりと0才児ならではの時間が流れ、ひだまりや廊下に面した窓では、他のクラスの子とのつながりが生まれています。



給食のサンプルケースが、廊下にあります。子どもの目線に設置したことで、保護者の方と子どもたち、給食室との会話がが増えていきます。
子「きょう、これをたべたよ～」
母「あれ～？これにがてじゃなかった？」
子「でもたべれた～」
給食室には毎日、楽しい会話が聞こえてきます。



園庭に面していて明るく広い階段下のスペースでちょっと遊んだり、のぞき窓から0才の子たちのお顔が見えて手を振ったりしています。廊下の途中にある給食室で、給食の先生たちとお話もします。それぞれのお部屋の中がよく見えるような窓があって他のクラスの子とのつながりも広がっています。

ごっこ遊び大好き！のとこちゃん。収集車のおじさんになりきって、音楽を口ずさみながらごみを集めたり、キッチンではお料理作りをしたり、絵本を読んで「おばけだぞ～」とオバケになったり。お部屋の中で遊びがみんなに広がっていきます。



ちびくろのお部屋は、なんととってもトイレが明るく、お部屋からもすぐにいく事が出来ます。「おしっこ！」と自分でドアを開けてトイレに向かう子もいます。園庭からトイレへも直通できるので『足を洗ってトイレ』というルートも見通しが持ちやすくなりました。

園庭では、お料理作り。お砂をお鍋やお皿に入れて、お水をいれて・・・「ラーメンいかがですか～？」「ケーキどーぞー」と、ごっこがはじまります。虫探しもだいすきで、園庭をホジホジ、ダンゴムシをカップいっぱいに入れ、ご満悦の笑顔。やりたいことが、いっぱいの子も達です。





幼児の4つのお部屋の真ん中にホールをつくり、各お部屋の子もたちが交流できる場所にしました。子ども達は、きらきらホールと呼んでいます。絵本を読んだり、誕生会をみんなでやったり、花いちもんめはじまります。自然に子どもたちが集まるステキな空間になってきています。

やっとできた念願のホール！思いっきり身体を動かしてリズムができるようになりました。トンボや汽車・スキップ・昔よくやったね～！覚えてますか？



4つのお部屋ができ、居場所が目に見えてわかりやすくなったことで安心できる空間になりました。友達同士の遊びがお互いによく見えいろんな声が入ってくるようになったことで、自然に興味を広がり、お部屋同士の関りも深まっています。



たんぽぽこたちの日々の様子や、取り組みを載せています。保育園時代を思い出しながら、ぜひのぞいてみてください。QRコードを読んでもらうとHPに繋がります <https://2020tanpopo.wixsite.com/mysite>

たんぽぽ保育園

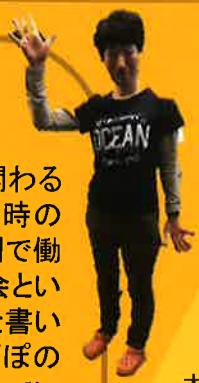
たんぽぽ保育園

新園舎完成おめでとうございます。

共同保育所時代に就職し、運営にも深く関わる保護者の方と諸先生方の熱意、認可をとる時の幅広い方々のご協力を得てたんぽぽ保育園で働き続ける事ができました。静岡あらぐさ福祉会という法人名もあの時保護者の方が「“雑草”と書いて“あらぐさ”って読むの好きだな。たんぽぽのように強く・やさしく・たくましくの願いにもあっているし、どうかな。」と言った言葉を今もはっきりと覚えています。そして静岡あらぐさ福祉会は、福祉施設を全部で3施設持つに至っています。

この度退職することになりましたが、今の保育園・通所老人施設がこの地域にあってよかったと思っ頂けるように今後のご活躍を願っています。長い間お世話になりました。

勝間田 壽美



無認可時代と認可後のおよそ850人の卒園生と保護者の皆さん

新園舎も自分達の育った自分の保育園とってお立ち寄りください。

H27年度～R1年度 卒園生保護者様

卒園記念品として、太鼓購入費用を頂きましたが、閉所する福祉施設から太鼓を譲りうけました。その為、頂いた費用を他に利用させていただきます。ご了承下さい。



室内は、はだして過ごす子どもたちが出来るだけ木のぬくもりを感じられるようにしました。



ハローハロー

新聞

2021年4月

2015年開園して6周年がたちました。

“みんなでつくったみんなの保育園”がみんなで力を合わせ育ち合っています！！
年々、対話的保育の実践をみんなで考えられるようになってきました。

福) 静岡あらぐさ福祉会
つくしんぼ保育園

対話する子どもたち……想像的創造力を育む保育を目指して

フォトギャラリー



おおきくなーれ



あゆちゃんにかけろ！



無事でよかつた
節分



指先に集中

たきぎごっこやろ
う！みんなで温ま
ろう！！



記念撮影ごっこ



6年目の園舎 馴染んできた園舎

園庭に樹木が増えてきました。1年目に植えたグミの木はとて大きくなり、実もたくさんつけて、子どもたちはもちろん、小鳥やセミも集まってきます。園庭にはダンゴ虫、カマキリ、蝶、蜘蛛。様々な生き物たちが一緒に暮らしています。昨年度には、ブルーベリーの木が仲間入り！！おいしい実をたくさんつけてくれることを祈ってます。それからりゅうの目(玉龍)…園庭が豊かになっています。

つばやき：異年齢保育の良さ実感

ねこのおうちのMちゃん2才児。2月になると、ももんちゃんたちが(1才児)一緒に給食を食べに、それぞれのおうちへお邪魔します。ねこのおうちにも4人のももんちゃんが遊びに来ました。そんなももんちゃん(1才児)Tちゃんに声をかけるMちゃん
「Tちゃんはなんさい？」
「2さい！！！！」
「ずいぶんちいさいね！。こまったことがあったらいつでもみいちゃんにいつてね」……そんなMちゃんも3才なんですけどね(笑)

職員より help!



池田地区は、地域の皆さんも温かく、とても良い生活環境です。子どもたちは池田地区を縦横無尽にお散歩に行きます。中でも北原山はとっても魅力的なお散歩コースでしたが、近年、北原山が荒れてしまっていて、イノシシや野犬が出没するそうです。荒れた山は危険リスクが高く、あんなに豊かな自然があり、魅力的な崖や隠れ家的な竹藪があるのに遊びに行けません。お散歩で北原山に行きたいです。どうか良い知恵を拝借ください。



～Sくんのギュー(強く抱きしめてしまう行為)の裏にある思い～ つくしんぼ0才保育

一人ひとりの子どもの「今」の姿をキャッチし、言葉では伝えきれない子どもの要求を言葉に換えながら、語り掛けることを大切にしてきました。0才児の保育とはなんだろうか…みんなで考えあうことができた記録です。

どうして、ギューするの？

7月に満1才で途中入園した、Sくん。7月の半ばごろから、お友達の後を追いかけて行ったり、お友達の顔をポンポンと触ってみたり、お友達のことが気になっているという姿が出てきました。9月になると、午睡しているお友達の上に馬乗りになってみたり、座っているお友達を突然ギューと抱きしめたり、関わり方が激しくなってきました。ふいにやったり、表情もなかったりするので、Sくんの行動に分らなさを抱えていました。



Sくんの気持ちを分かりたい

Sくんがお友達を叩いたり、ギューをしたりするときに、私は首を横に振りながら「お友達が痛いよ」ということをSくんに伝えていました。ある日、Sくんがお友達を強くギューとして、私が首を横に振ると、Sくんが私の真似をして、首を横に振りました。その時に、私の意図はSくんには伝わってなく、あまり意識をせずに自分が首を横に振っていたことに気づかされ、同時にS君の気持ちをわかってほしいという気持ちにも気づきました。

クラス会議でも話し合い、Sくんの思いは「友達と関わりたい！」だから、抱きしめるではなく、おててとおててのタッチ！という方法に変換してみたらどうかと、確認しました。日頃から、タッチ！が子どもたちの挨拶の代わりになるように、様々な場面で「タッチ！」を取り入れてみました。

友だちとタッチ！したい

11月中旬、お昼寝から起きふらふらと歩きだすSくん。少ししてKちゃんが起き寝ぼけ眼に布団の上に座っていると、Sくんが勢いよく走ってきて、前からKちゃんをギューと抱きしめる。突然の出来事にKちゃんは「ぎゃあ！」と怒る。慌ててSくんに「Kちゃん嫌って言ってるよお。おはようしたかったの？」と言って、Sくんの手をKちゃんからほどこうとしましたが、思いのほか強く離せません。Kちゃんはさらに怒りました。無理やりSくんを離してお膝に入れて、Kちゃん好き好きしてたかったの？と聞くと、「あ〜う〜！」と怒り、Kちゃんの頭を今度は叩き始めました。「叩いちゃいやよお！おはようのタッチはどう？」と聞いてみると、言葉が入っていったのか、落ち着いてKちゃんの前へ手を出すSくん。しかし、Kちゃんの怒りはまだ収まらず「う〜」と泣き顔。保育士が代わりにSくんの手をタッチしようとするとうっ！と怒って手を引っ込める。Kちゃんとタッチしたいのだな…。結局KちゃんとはKちゃんの気持ちが向かずタッチは出来ませんでした。この騒ぎでむくくと起きてきたMちゃんにタッチしてもらい機嫌が良かったSくんでした。

終わりに

ギューの中にも、子どもたちの思いはいろいろなんだな…と思いました。ギュー(抱きしめる)=好き好きだけではない。ギューした時に「お友達のことが好きなんだね」という思いに決めつけしないで、その都度、気持ちを想像しながら声をかけてみると、必ず子どもは反応してくれます。0才児クラスのまだ言葉を持たないけど、Sくんは「おはよ！」ってしたい…気持ちはしっかりとここにあるんだなと思いました。

この時の職員総括会議の中で、0才児にも「人権」があるよね！という共通理解になりました。0才児だって、その行動にちゃんと意味があって、体で、全身で表現している。だから、0才のメッセージを、私たち保育士は、決めつけしないでしっかりキャッチしよう！という話になりました。



保育情勢 運動の成果

新子育て安心プラン

3つの柱があります。①地域の特性に応じた支援②保育士確保③子育て資源の活用…です。しかし保育士確保については新たな対策は打ち出されていません。国は安易に規制緩和して保育士確保をしようとしています。短時間で働きたい保育士が多いという調査データから、担任1名の常勤職員の代わりに、2名の時短保育士でもよいとする案が出されようとしているのも事実です。しかしその場限りの施策でしかなく、保育の引継ぎや家庭状況の共有など、新たな業務負担も予測されます。なんでも規制緩和をしていくことが、子どもたちにとってどうなのかということをもう一度訴えていきたいところです。

小学校35人学級実現→保育も続け！

5才児4才児保育の配置基準は、30対1です。コロナの時代を経て30人がどんなに密な保育なのかということを実感しました。この追い風によって、4才児5才児の基準も15:1になるように引き続き運動していきたいです。





デイサービス福寿草

〒422-8006
駿河区池田667-1
054-208-0103



こんにちは！デイサービス福寿草です。
地域に根差した高齢者のよりどころを、との思いから、
2002年9月に池田に作られた、
(福) 静岡あらぐさ福祉会の地域密着型通所介護
(デイサービス)です。定員10名、こじんまりして施設らしく
ないところが特徴です。



月曜～土曜、池田や小鹿はもちろん、遠くは
葵区・清水区からも通ってくださる方がいます。
体操やゲームなどの機能訓練、しりとりや計算の頭
の体操、食事、入浴、排泄介助など対応しています
介護保険で要支援1～要介護5の方が対象です。



コロナ禍でデイでの生活も様変わりし
ました。
マスク、手洗い、消毒、そして
ソーシャルディスタンス。
横一列に並んでの食事。
でも皆さんと食べる手作りの昼食は
好評ですよ！

⇨こちらは一昨年のハロウィーンです。
たんぼぼやつくしんぼの園児さんと
また交流できる日が待ち遠しいです。



リフト付きワゴン車に乗り
込み、花や絶景を求めて
あちこちへ。
ときにはお茶とおやつを
戸外でいただくことも。



高齢者介護のご相談、承ります。
Tel.208-0103までお気軽にどうぞ。
担当 成田

2021/02/22